



2020年4月30日発行

## マイナンバーの嘘

今月20日、10万円の特別定額給付金10万円の給付が閣議決定されました。あまりにも遅い!という問題は別として、国が押し進めてきたマイナンバーカードの交付率をこれを機会に挙げていこうという魂胆が見え見えます。

しかし、マイナンバーカードはあくまでも個人カードなので、特別定額給付金の基本になる住民基本台帳とはつながっていません。パソコンで申請すると早く10万円が貰えると国は言っているようですが、市役所はその確認だけで大変なことになっているようです。

マイナンバーカードを持っている人にしても、パスワードを忘れてしまうと、市役所にいかなければならず、何時間も待たされるそうです。ドイツのように申請したら3日後には口座に振り込まれたという仕組みではないのです。

「便利」どころか、「不便」でしかないマイナンバーカードには退場してもらいたいものです。マイナンバーカードで得をしているのはカード関連企業とその企業から献金を受けている議員だけだったりして・・・嫌な世の中です。



この写真は多分23歳か24歳のころです。隣は友和。こうして見ると、まるで本当の兄弟のようです。五中三年生の友和と担任でどこに行ったんでしょうねえ。☺



二中の4月。最初の集会で「歌を歌ってください」と言われて、歌っているところです。

## たかやんのプロフィール



1954年東京生まれ  
本名たかむらともや  
新宿区立西戸山中  
石神井高、北海道大  
庭球部卒。高校でも  
大学でも勉強はせず、  
テニスばかりし

ていたので、「庭球部卒」という訳。

そんなテニス馬鹿が新設校の新座五中に新任で赴任。しかも3年生の担任になったのだから恐ろしい。当時の日本ではただ一人新任で3年の担任だった。無茶苦茶な話である。その後五中・六中・二中で21年間担任を続けその間、学級通信「一生懸命」を毎日書き続ける。その続編がこの「一生懸命」である。教科の基本は理科だが、数学・国語・英語・体育も教えてしまったのだから、やはり滅茶苦茶である。現在も石神三丁目の「たかやん塾」で個別・集団対応の塾で子ども達と学び続けている。(042-456-8869)

今回の選挙で富永孝子と「市民と語る会」を再結成した。写真は娘の古都です。

中一の遠足の時の写真だと思います。☺

## ③ 9月入学はいかんよ！！

学習の遅れを取り戻そうと、「9月入学」という言葉がでてきました。僕は**大反対**です。

まず、**土曜日の授業を復活**させることです。そして、授業時間を10分短縮することが重要です。50分×4コマ＝200分が今の中学校の授業ですが、それを40分×5コマ＝200分にすれば、同じ時間で最低でも**週に10時間、月に40時間**の授業を取り戻すことができます。

僕の経験では、50分ダラダラやるよりも、40分で集中した方がいい授業ができます。実際保護者会や研修が午後にある日は、日常的に「短縮授業」を行っていました。全然、問題はありませぬ。毎日、7時間授業をやっても3時20分には授業が終わります。夏休みも授業に充てれば、3ヶ月もあれば授業数は解決します。新座市には全クラスエアコンが付いているのですから、それを生かさない手はありません。

土曜授業と授業時間の短縮、そして夏休みを利用すれば、「体育祭」や「合唱祭」などの行事も例年通りやることができます。

「学習」だけの学校では子ども達が可哀そうです。いろいろな行事を通して、仲間ができて、思い出もできるのですから……。

9月入学は弊害が大きすぎます。別に欧米に合わせる必要はないのです。「グローバル化の危険」を今、身をもって学んでいるのですから、日本は日本独自の道をいけばいいのです。**グローバル化**とは「人」「金」「もの」そして、「ウィルス」も自由に出入りすることを言います。こんなに**危険**なことはないのです。

マスク不足でパニックになりましたが、地球温暖化で気候が激変している今、心配すべきは「食糧」です。日本の食料自給率はわずか38%。先進諸国では最低ラインです。

カナダや米国は200%を超えているのですから、その貧困さが分かります。お金を出してもマスクが回ってこなかったように、お金では食糧が回ってこない……そういうことがいつきてもおかしくないのです。今回のコロナ問題で学ぶべきはそこだと思えます。

## ③ 全国一斉休校要請

**COVID19との戦い**はかなり時間がかかるでしょう。科学的根拠なく「全国一斉休校」にして、数か月、数年と子どもたちの学習権を奪ってしまったら、日本の子供たちの未来などなるのでしょうか。

大人はテレワークに移行できても、オンライン授業ができる子は限られています。

パソコンがない子、スマホがない子、家にワイハイ環境がない子はかなり多いのではないのでしょうか。僕自身、塾でオンライン授業を楽しんでやっていますが、子供たちの細かい表情を読み取るのはなかなか難しいです。

「全国一斉テスト」はまだ許せますが、新型コロナ対策での「全国一斉休校」と行き過ぎた「自粛」は大きな間違いだと断言しておきます。子ども達を大人たちの感染予防の犠牲にすることははいけません。**COVID19とは長い戦い**になるでしょうから……。



## ③ 雪だるま

この写真は五中の体育館の裏で、みんなで雪合戦をした後に、雪だるまを作った時の写真です。今の中学校は校庭での雪合戦をやらないみたいですが、昔の五中は雪が降った時は当たり前のように遊んでいました。

勿論、担任は標的になります。40対1の戦いになっても、知恵と体力で何とか生き残る担任でした。……そして、戦いの後はみんなで雪だるまを作って、最後にはこうして、笑顔で写真を撮るのです。

大切なのは授業だけじゃないのです。一緒に泣いて笑って、初めて先生になるのです。

